令和7年産

ビール大麦栽培ごよみ

福岡京築農業協同組合
京築普及指導センター

赤かび病防除（2回）を行っていない麦は、共乾施設等での荷受けはできません。

〈栽培のポイント〉 排水対策・適期播種・酸度矯正・適正施肥・赤かび病防除（必ず2回）・適期収穫

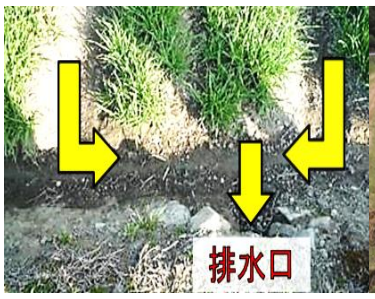
月・旬	10 下	11 上	11 中	11 下	12 上	12 中	12 下	1 上	1 中	1 下	2 上	2 中	2 下	3 上	3 中	3 下	4 上	4 中	4 下	5 上	5 中	5 下	6 上
生育	出芽期							有効分げつ期			無効分げつ期		茎立期				出穂期		登熟期			収穫期	

主な作業

- ●排水対策
- ●土壌改良材の散布
- ・播種前の除草剤
- ・種子消毒
- ・基肥
- ↔ **播種時期**
- 初期除草剤
- ○麦踏み
- ●追肥①
- ○麦踏み
- ○土入れ
- ●中期除草剤
- ○畦溝さらえ・排水口の整備
- ○麦踏み
- ○土入れ
- ●追肥②
- ○オオムギ網斑病防除（前回多発したほ場は必ず防除）
- ●赤かび病防除①
- ●赤かび病防除②
- 収穫前に雑草抜き
- ●収穫
- ○早刈り・高速刈りは厳禁！
- ビール大麦は、25%以下で収穫開始
- コンバインのこぎ胴回転を低速で収穫（穂首が8割以上曲がり、穀粒が黄白色になった頃）

高品質麦生産のため、適期播種を心掛けましょう！

麦踏み・土入れは土壌が乾いているときに実施



排水対策を徹底しましょう！！
稲刈り後は、速やかに周囲溝を作る、弾丸暗きょを引く

カラス/エンドウ

ネズミムギ

カラスムギ

網斑病(初期症状)

赤かび病の穂

1. 土壌改良資材（ 適正pH 6.0～6.5）

◆資材の銘柄と、土壌pHを1あげるのに必要な資材量 （10a当たり）

資材名	施用量	備考
生石灰	100kg	アルカリ分90%でpHが上がりやすい。播種の10日前までに施用し、土とよく混和。
細粒苦土石灰	160kg	アルカリ分55%で、苦土を含む。
ミネラルG	200kg	アルカリ分40%で、ケイ酸や鉄分を含む。

2. 播種量および播種時期

（10a当たり）

品種名	播種適期	播種量	備考
はるさやか	11月20～30日	7～8kg	遅播の場合は播種量を増やす

3. 種子消毒

対象病害虫	薬剤名	処理方法
斑葉病・網斑病 なまぐさ黒穂病 裸黒穂病	トリフミン水和剤	種子1kgに対し、薬剤5gを粉衣。
鳥害防止 斑葉病・網斑病	キヒゲンR-2フロアブル	種子1kgに対し、薬剤20mℓを塗沫処理。

4. 施肥基準

（10a当たり）

品種名	基肥	追肥① 1月中・下旬		追肥② 2月下～3月上旬
はるさやか	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 25kg		硫安 10kg
		追肥一発	麦追肥名人 25kg	

※大豆後の基肥は30kg/10a。

5. 雑草防除基準

○播種前処理

（10a当たり）

薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量
ラウンドアップ マックスロード	耕起・播種前 又は 播種後出芽前 （雑草茎葉処理）	200～ 500mℓ	50～ 100ℓ

≪注意事項≫
除草剤散布の際は、周囲の作物に飛散しないようにしましょう！

○播種後

（10a当たり）

	薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量	備考
初期（播種後）	リベレーターG	播種後～麦2葉期	4～5kg	―	雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで
	リベレーター フロアブル	播種後～麦3葉期	60～70mℓ	100ℓ	雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで

※リベレーターフロアブルは、使用量が多いと大麦で薬害が発生する恐れがあるため注意する。

○生育中処理

（10a当たり）

	薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量	備考
中期（生育期）	ハーモニーDF （イネ科・広葉）	麦1葉期～節間伸長前	5～10g	100ℓ	イネ科・広葉雑草に効果がある
	バサグラン液剤	大麦：収穫90日前まで	100～ 200mℓ	100ℓ	広葉雑草のみ効果 ﾄｹﾞﾐﾉｷﾂﾈﾉﾎﾞﾀﾝに効果が高い
	トレファノサイド 粒剤2.5	生育期 （雑草発生前） ただし、収穫45日前まで	4～5kg	―	カラスムギ、ネズミムギが前年多発したほ場では、2回散布すると効果が高い
	トレファノサイド 乳剤		200～ 300mℓ	100ℓ	

※ ハーモニーDFは、野菜や豆類等に薬害を生じるので、ドリフトがないように注意。
使用後のタンク及び散布器具は、添付の石灰溶かした液を10分間循環させた後、20分間放置し、排水後清水で洗浄する。

6. オオムギ網斑病防除

●防除適期：3月中下旬（前回多発したほ場） （10a当たり）

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
チルト乳剤25	網斑病	1,000倍	60～150ℓ	収穫21日前まで 使用は1回以内

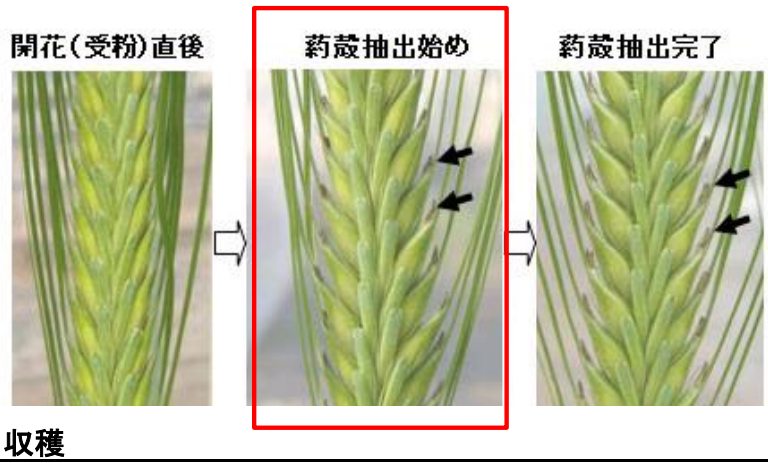
7. 赤かび病防除

かび毒発生防止のため、必ず2回防除を行ってください。 （10a当たり）

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
ミラビスフロアブル	赤かび病	2,000倍	60～ 150ℓ	大麦：収穫14日前まで 使用は2回以内
ワークアップフロアブル	赤かび病 うどんこ病 網斑病			収穫7日前まで 使用は3回以内
ワークアップ粉剤DL		3kg	―	

※ 大麦の赤かび病防除適期

1回目 ： 葯殻抽出期 （出穂12～14日後頃） **2回目 ： 1回目の7～10日後**



8. 収穫

○早刈り・高速刈りは厳禁！
・ビール大麦は、25%以下で、コンバインのこぎ胴回転を低速で収穫
（穂首が8割以上曲がり、穀粒が黄白色になって収穫開始。）

農薬・肥料はR6年8月現在の登録に基づいて記載しています。